

# 「手賀沼 魚類・貝類調査」

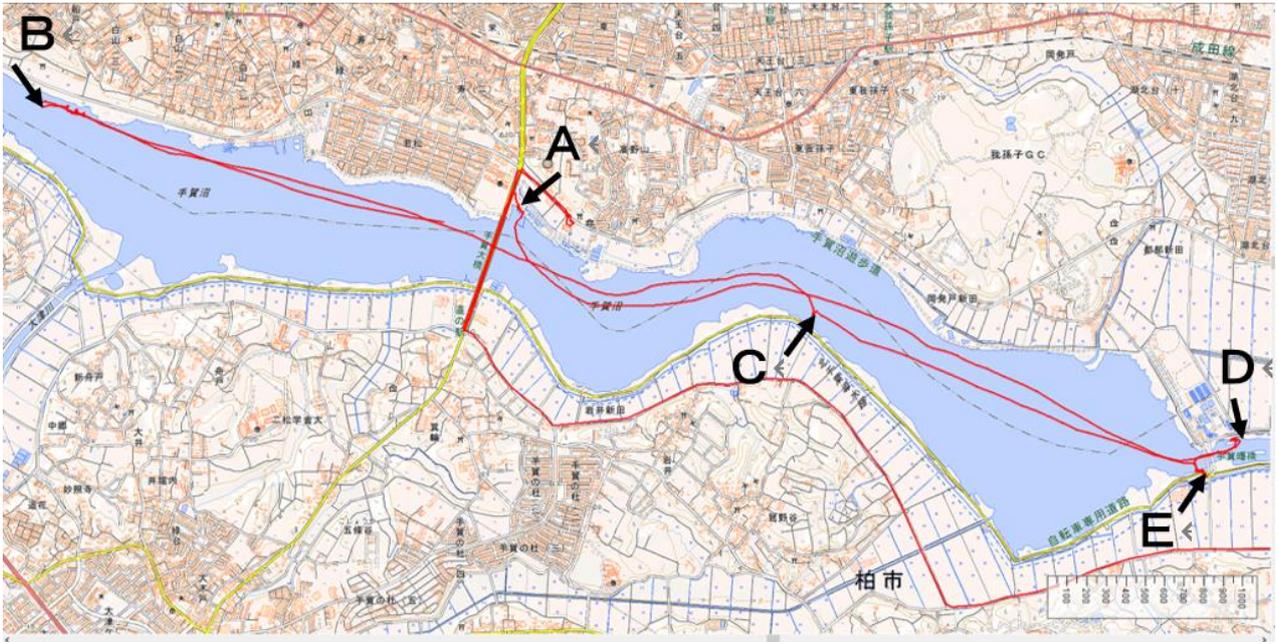
手賀沼水生生物研究会 矢竹一穂

2024年9月14日（土）8:30~12:25 参加9名 天気：晴れ

調査はモンドリによる定量調査とガサガサ（一部目視含む）による定性調査を並行して行った。

場所	親水広場棧橋	根戸新田	見晴らし台	FC棧橋東	片山新田
緯度	35.861725	35.866611	35.857133	35.851456	35.850197
経度	140.02705	140.00145	140.042958	140.066936	140.064881
時間	8:40~9:10	9:30~10:00	10:30~11:00	11:20~12:25	11:35~12:25
底質	砂泥	砂	砂泥	砂泥・ヘドロ	砂
水深(cm)	30	30~50	50	20	50
気温(°C)	32	34	30	31	31
水温(°C)	27	28	28	29	29
モンドリ数	3	6	6	2	4
モツゴ	73	247	35	4	85
タイリクバラタナゴ	6	6	13	11	17
タイリクバラタナゴ稚魚					
ヨシノボリ					
ヌマチチブ		1			
タモロコ	7	1	1		
カタヤシ	1				
スジエビ	5	92	1	8	43
テナガエビ					
トンボヤゴ					
<b>ガサガサ</b>					
モツゴ	*実施なし	○	○	*実施なし	
タイリクバラタナゴ		○	○		
タイリクバラタナゴ稚魚					
ヨシノボリ		○			
ヌマチチブ		○	○		○
タモロコ			○		
カタヤシ		○			
オイカワ		○			
ブルーギル		○			○
スジエビ		○	○		
テナガエビ					○
シナヌマエビ					
ボラ					
ゲンゴロウブナ					
ミシシッピーアカミミガメ					○
<b>貝類</b>					
ドブガイ生体					
ドブガイ貝殻					
イシガイ貝殻					
カラスガイ貝殻					
ヌマガイ生体			1		4
ヌマガイ貝殻					3
ヒメタニシ		○			
タイワンシジミ					1

- ・魚類：全体に昨年度より個体数がやや減少したが、図1の経年変化にみられるように、ここ数年はほぼ安定している。種別にはモツゴが最も多く次いでスジエビ、タイリクバラタナゴを確認した。
- ・貝類は昨年にならなかつた。
- ・図1に2008年以降の捕獲数上位8種の経年変化を示す。



船上調査の調査地点および航路

A：親水広場栈橋、B：根戸新田、C：見晴台、D：フィッシングセンター栈橋東、E：片山新田

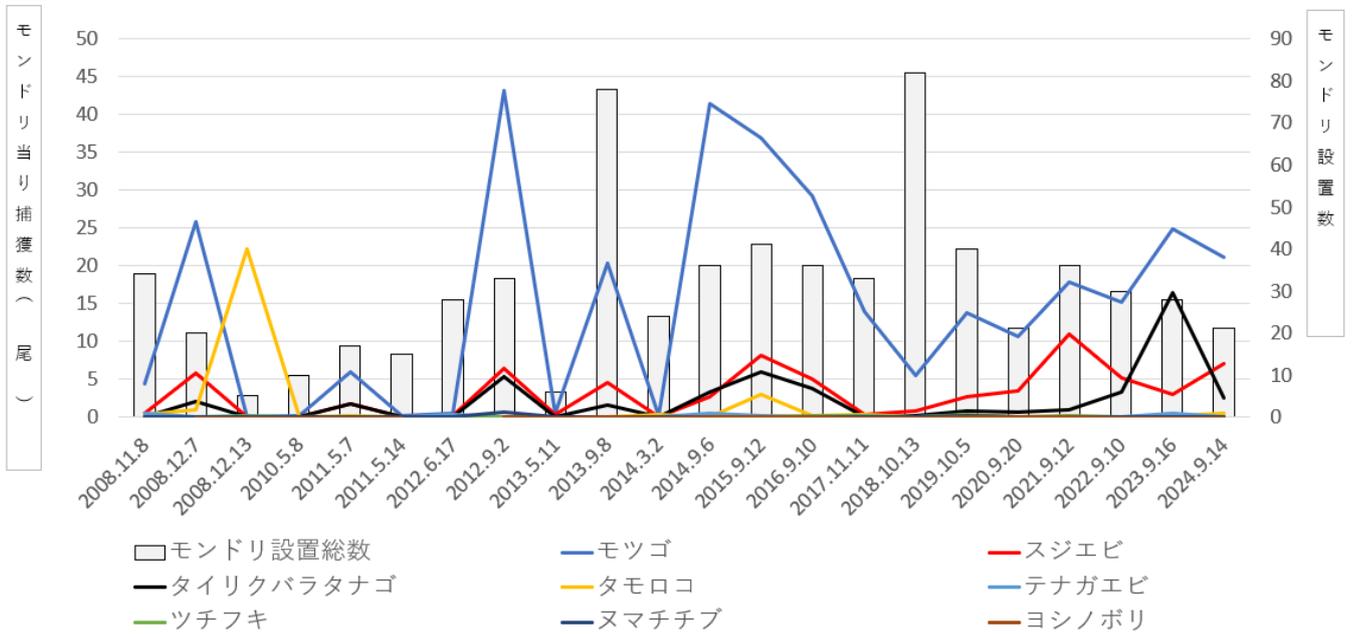


図1 モンドリによる捕獲数（上位8種）



定性調査の様子



モンドリで捕獲されたモツゴ等



捕獲生物のカウント



確認された貝類